

任意団体 食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク(食農市民ネット)

生物多様性を地域レベルで考え守るための、食と農を通した遺伝子組み換え生物に関する調査研究及び普及啓発事業

イベントの 延べ参加者数	400 人
イベント参加者 の満足度	80%
活動の全体目標 に対する達成度	60%



「国際生物多様性の日」記念シンポジウム

◆成果と工夫したポイント

- 成果** GM ナタネ自生調査報告会に 130 人の参加があり、目標（100 人）を 30% 上回った。
- 工夫** 開催地(名古屋)にある当団体の構成団体が、SNS を中心に呼びかけた。



課 題

遺伝子組み換え (GM) 作物は、生物多様性に悪影響を与える可能性が高いが、国内の環境団体にはほとんど知られていない。国際会議 (MOP) に日本の環境団体は参加しない。

活動内容

- ・隠れ GM 合同委調査のため、GM ナタネ自生調査を GM 汚染の激しい三重県四日市市内で 2 回実施した。
- ・韓国で GM 作物自生調査活動を定着させるために、韓国を訪問し、日本の GM 汚染実態や調査方法等についてレクチャーした。
- ・国際生物多様性の日や院内学習会などのイベントの案内を、環境団体に送った。



韓国での遺伝子組み換え問題提起集会

今後の課題

GM ナタネ自生調査を「市民科学」の領域に引き上げるため、交雑種の見分け方などの実地訓練をしたい。